

境島村公民館だより3月号



発行日 令和6年3月1日 : 発行 境島村公民館
電話/Fax 0270(74)9345 : e-mail sakaishimamura-k@city.isesaki.lg.jp



令和5年度 境島村公民館主催事業開催報告

境島村公民館で今年度実施した学級・講座と地域・小中学校の連携事業を紹介します。

子どもクラブ・セカンドライフェイト・女性学級・IT講習



6月つまみ細工教室



7月 LINE 講座



7月
夏休み子ども書道教室



9月 すいみん講座



12月 経絡教室



12月 まゆクラブ教室



12月 子ども書初め教室



1月 吊るしびな作り教室



2月 ハーバリウム教室

2月26日・3月4日・
3月11日には骨盤体操
教室を、3月4日・5日・
8日には境地区公民館
連携タブレット教室を
行います。

学社（学府）連携事業

花のゆりかごプロジェクト



【境小学校】



あいさつ運動



公民館図書室 新刊のご案内



- ① 「大ピンチずかん 2」 鈴木 のりたけ著 この図鑑は子どもが、出会う世の中の様々な大ピンチを「大ピンチレベル」の大きさと5段階の「なりやすさ」で分類し、レベルの小さいものから順番に紹介します。
- ② 「魔女だったかもしれないわたし」 エル・マクニコル著 榎田理絵訳 昔「人とちがう」だけで処刑された人たちがいた—魔女裁判の話聞いたアディは、慰霊碑を作ることを提案するが……。自閉の少女の葛藤とせいちょうを描いた感動作。
- ③ 「星を編む」 凧良 ゆう著 「汝、星のごとく」続編 ほくと彼女の間にある温かく、けれど脆い何か— 歩それをもう愛と名付けてよいのだろうか。
- ④ 「君のクイズ」 小川 哲著 クイズプレイヤーの思考と世界が丸ごと体験できる。そして読後、あなたの「知る」は更新される。卓越したミステリーにして、新感覚なエモーショナルなエンターテインメント最前線！
- ⑤ 「夜明けのはざま」 町田 その子著 せめて、自分自身にはうそをつかずに生きていきたい。自分の情けなさに歯噛みしたことの無い人間なんて、いない。死を見つめることで、自分らしくいきることへのかつとうと決意を力強く描き出す、本屋大賞受賞作家、新たな代表作！ わたしたちは生きていく。本屋大賞受賞作「流浪の月」著者の、心の奥深くに響く最高傑作。
- ⑥ 「くもをさがす」 西 加奈子著 カナダでがんになった。あなたに、これを読んでほしいと思った。いま、生きるためにもがく、すべてのひとへ。

令和6年4月 寺子屋瑛珂比「特別塾」

開講日(予定) 4月14日(日)、5月12日(日)、6月16日(日)の3回連続
 時間割と内容 前半 午後1時30分~2時30分 栗庵依鳩の「勢りのね」原本を読む
 後半 午後3時00分~4時00分 渋沢栄一を徹底して学ぶ
 会場 境剛志公民館 ・資料代 3回分500円 ・参加 先着20名
 講師 渋澤一真さん(追善小島菊解説者)・木村孝雄さん(渋沢栄一記念財団幹事)
 申込み 電話で申し込み寺子屋瑛珂比 担当井上(☎0270-74-7280)まで
 主催 NPO法人境いきいきアイ 主管寺子屋瑛珂比
 後援 伊勢崎市教育委員会 一般社団法人さかい・ふるさと創生基金